



## JAMCA ニュース

No.102

2019年7月1日

発行  
協会事務局

全国自動車大学校・整備専門学校協会

〒160-0015 東京都新宿区大京町 31

ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066

〒125-0002 東京都葛飾区西亀有 3-28-3

☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988

ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

編集事務局

## これからの自動車社会に求められる技術者とは

専門学校 静岡工科自動車大学校 常務理事  
全国自動車大学校・整備専門学校協会 理事

平井 一史



現在、自動運転や電動化など自動車技術は進化のスピードを増しています。併せてコネクテッドやカーシェアリングなどの新たなサービスも展開され、自動車を取り巻く環境も急速に変化しています。今後、更に自動車技術の高度化により、その仕組みをユーザーが理解することは困難になっていくため、自動車整備技術者はこれまで以上にユーザーとのつなぎ役を担うことが期待され、自動車の安心・安全を担保する自動車整備業界の重要度は高まっていくと推測されます。

また、自動車業界の将来を見据えた時に2つのテーマが考えられます。ひとつは環境問題（排出ガス削減）であり、エネルギーの制約への対応等により自動車の排出ガスによる環境破壊が大きな問題となり、環境に配慮した自動車が求められハイブリッド車（HV）や電気自動車（EV）、燃料電池自動車（FCV）などの普及です。今後、電気スタンドの設置、水素ステーションの設置などの普及により、ユーザーが次世代自動車を購入しやすく使い勝手が良い環境整備が進めば行動範囲が広がり自動車産業も更なる

発展が期待されます。

つぎにAI（人工知能）の活用による自動運転の実用化です。自動運転の実用化は、まずは自動ブレーキなどの部分的な技術を確立し、その後、完全な自動運転を目指し我々が想像している以上に速いテンポで実現化に向かっています。また、動力源の変化により最新技術を搭載した自動車には、センサーや電子部品、ソフトウェアの塊となり、高度で精密な調整が必要となるので、コンピュータに精通していることも必要不可欠な要件となるでしょう。

一方、どんなに技術の進歩や発展があっても自動車が機械である限り、そこに劣化やトラブルはつきものであり、その対応策として様々なトラブルに柔軟に対応でき確実にメンテナンス（診断・点検・調整・整備）のできる優秀な技術者が求められますので、今後、変わりゆく自動車技術の進歩や変化に乗り遅れることなく、幅広い知識と技術を身につけていることです。当然のことながら技術が変われば使用する機器や工具も変わるので変化についていくのは決して容易で簡単なこ

とではありませんが、これまでのような決まった技法で与えられたパーツを扱うよりも、仕事の幅や可能性が広範囲になりますので常に向上心と探究心を持ち学び続ける姿勢が大切です。併せて技術力のみならずコミュニケーション能力やサービス精神、接客技術も向上していなければなりません。特にユーザーがいかに心地よく総合的なサービスを利用して頂くかが重要なポイントとなり、これまでのような整備士だから自動車の整備だけ熟せばいいという考え方は通用しなくなります。

これから羽ばたく自動車整備技術者には、ただ技術を追い求めるだけではなく、時代の変化や世の流れを把握・理解のもと、自らの役割を果すべく、たゆまない努力と自己研鑽に励み活躍して欲しいと願います。

## CONTENTS

- |       |                                        |
|-------|----------------------------------------|
| 2面    | Zero emission Vehicle の更なる普及に向けて       |
| 3面    | クルマ大好き！活躍!! 女子！卒業生                     |
| 4面・5面 | 農業用大型特殊自動車の自動運転化（乗用車以外の自動運転の開発状況を把握する） |
| 6面・7面 | 協会トピックス・地区通信                           |
| 8面    | 私の教材活用・お知らせ・編集後記                       |